西伊敷小学校

# 令和７年度第１回学校運営協議会議事録

１　期　日　　令和７年５月３０日（金）　１０：３０～１１：３５

２　場　所　　西伊敷小学校　校長室

３　出席者　　加藤　俊文，福徳　清和，藤﨑　剛，村山　雅子，大石　博子，上薗　隆一，本田　和輝，山﨑　さつき

４　会順及び協議題
(1)　開会のことば及び学校長あいさつ
(2)　自己紹介及び辞令交付
(3)　協議
　ア　学校運営協議会について
　イ　年間活動計画について
　ウ　令和７年度学校経営について
　エ　意見交換
　オ　その他
(4)　閉会のことば

５　協議の内容や意見等
○　子供たちの作品（自由研究等）を夏祭りや校区文化祭等で掲示したり、また、町内会ののぼりを子供たちで作成し取り付けたりすることで、地域の活性化につなげてほしい。（子供たちの力は、地域の行動に大いに影響を与える。）
○　子供たちが行うボランティアに非常に大きな意味がある。環境教育を今後も伝統として継続してほしい。
○　一校一改革にある「ワンストップ、笑顔で語先後礼」が児童におおよそ身に付いているのがすばらしい。特に低学年は，立ち止まってしっかりあいさつができている。小学校入学時から指導をしていることが，習慣化につながっていると感じる。
○　西伊敷小学校では、人権教室と人権集会の２つを継続して実施している。このことは、たいへん素晴らしいと思っている。作文、劇、授業等で今後も年齢に関係なく、みんながわかりあえる環境を継続してほしい。
○　不登校や登校渋りのある児童へは，初動が大切であると思われる。その背景を探り，早期対応を行い，解決につなげてほしい。校長の説明では、保護者とのコミュニケーションを即時的にかつこまめに、また、生徒指導部会・対策委員会等で機を逸することなく対応していることがわかった。